

型 式	APM-330PA	最大切削幅	約330mm
定 格 電 圧	AC100V	最大切削材厚	約150mm
定 格 電 流	15A	最低切削材厚	約10mm
定 格 周 波 数	50/60Hz	最低切削材長さ	約250mm
消 費 電 力	1,400W	最大切り込み深さ	約3mm
無負荷回転速度	9,700min ⁻¹	送 材 速 度	7.6m/min
本 体 質 量	約35kg	絶 縁 方 式	二重絶縁□
本 体 サ イ ズ	約W580×L360×H490mm (テーブル収納時)	コ ー ド 長 さ	約2.4m
● 二枚刃方式 ● セフティーロック機構付 ● 自動供給機能付			
セ ッ ト 内 容	●補助バー …………… 2 (1set) ●六角棒レンチ4mm …………… 1 ●マグネットハンドリングツール …………… 1		

※品質改良のため外観・仕様など一部変わることがあります。

保証書

保証期間内に取扱説明書等の注意書きにしたがって正常な状態で使用し、故障した場合には、お買い上げの販売店に本書をご提示の上、修理をご依頼ください。

品 名	自動カンナ		お買い上げ日※	年 月 日
型 式	APM-330PA		保証期間	1年
お客様※	ご住所	〒	販売店※	住 所 名 店 店 名 電 話 番 号
	ご氏名	様		
	電話番号	- () -		

※印欄に記入のない場合は、無効となりますので、必ずご確認ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有償修理になります。

- ①本書の提示がない場合。
- ②本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合。あるいは文字を書き替えられた場合。
- ③使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
- ④お買い上げ後の落下、引越、輸送等による故障及び損傷。
- ⑤火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷。
- ⑥一般家庭用以外（例えば、業務用の長時間使用、車輛、船舶への搭載）に使用された場合の故障及び損傷。
- ⑦リサイクル業者や、使用者等による再販など、当社の責任範囲を超える場合。
- ⑧日本国外での使用。

2. 本書は、再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

3. 本書は、日本国内においてのみ有効です。

発売元 **株式会社パオック**

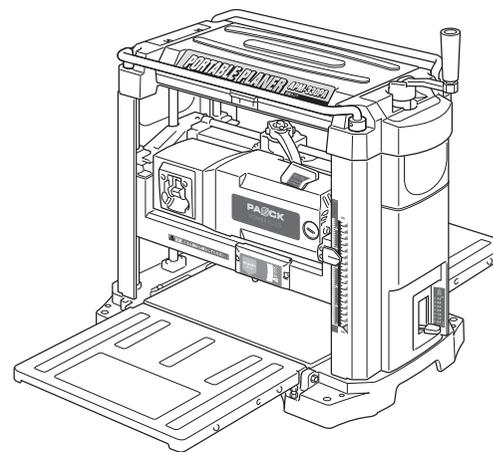
〒955-0061 新潟県三条市林町2-5-21
TEL:(0256)33-5574 FAX:(0256)33-5559
URL <http://www.paock.co.jp>

PAOCK **DIY用**

木材切削用電動工具 自動カンナ

取扱説明書

品番 APM-330PA



各部の名称と付属品 …………… 2

本体各部 …………… 2

付属品 …………… 2

安全上のご注意 …………… 3～7

電動工具使用上の一般的注意 …… 3～5

自動カンナ安全上のご注意 …… 6～7

ご使用前の準備 …………… 8～12

アース …………… 8

セフティーロック機構 …………… 8

運搬 …………… 9

設置 …………… 9

補助バーの取り付け …………… 10

カッターヘッドの調整 …………… 11

切り込み深さの調整 …………… 11

スケールインジケータ …………… 12

定寸ストップ …………… 12

使用方法 …………… 13～15

操作方法 …………… 13～14

終了方法 …………… 14～15

保守と点検 …………… 16～21

カンナ刃の交換 …………… 16～18

テーブル高さの確認 …………… 19

テーブル高さの調整 …………… 19

スケールインジケータの確認 …… 20

スケールインジケータの調整 …… 20

カーボンブラシの点検 …………… 21

注油 …………… 21

別売品について …………… 22

故障かな?と思ったら …………… 23

仕様 …………… 24

このたびは自動カンナをお買い求めいただき、ありがとうございます。

この商品は、**板の厚さを均等に削る電動工具**です。

●正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に本取扱説明書を必ず読み、記載の手順に従ってご使用ください。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることが出来る場所に、大切に保管してください。

●第三者に譲渡・貸与される場合も、この説明書を必ず添付してください。

●本取扱説明書の裏表紙は、保証書となっております。販売店より「お買い上げ日・販売店名」などの記入があることをお確かめください。

●当商品に関するお問い合わせは、お買い求めの販売店もしくは当社（下記・裏表紙記載）にご連絡ください。

発売元 **株式会社パオック** お問い合わせ：(0256) 33-5574

各部の名称

安全上のご注意

ご使用前の準備

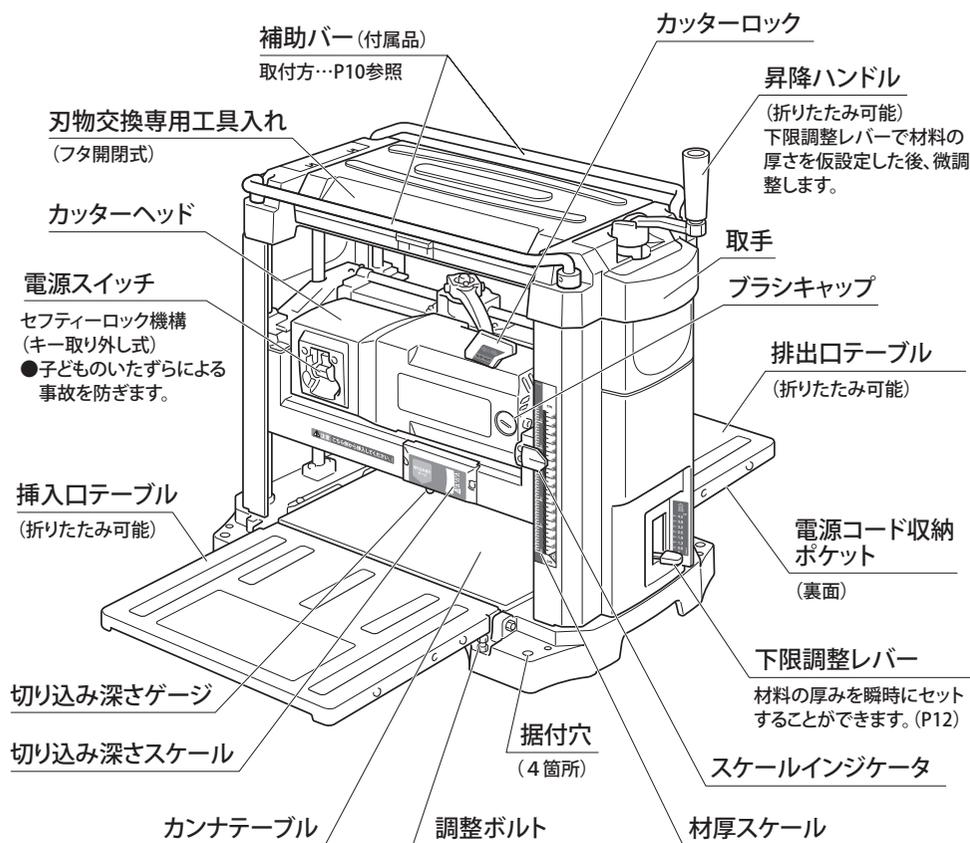
使いかた

その他

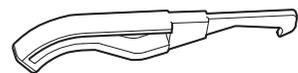
各部の名称と付属品

故障かな？と思ったら

■本体各部



■付属品 (刃交換専用工具)



マグネットハンドリングツール



六角棒レンチ(4mm)

■梱包内容の確認

開梱後、上記の物が揃っているかご確認ください。
不足している場合は、販売店または発売元までご連絡ください。

●次のチェックリストに沿った点検を行ってください。

症状	原因	解決方法
板材の末端に溝ができる	①刃の切れが悪い	①新しい刃に交換してください。 P16~18
	②長い板材を確実に支えていない	②台などを用意し、長い板材を確実に支えてください。 P14
	③挿入口・排出口テーブルの調整不良	③各テーブルを調整してください。 P19
材料の厚さが材厚スケールの表示と合っていない	①目盛り合わせの間違い	①スケールインジケータを調整し、確実にねじを締めてください。 P20
	②刃の取り付けの間違い	②刃を正しく取り付けてください。 P16~18
材料の表面が縮れた状態になる	①材料が多量の水分を含んでいる	①材料を乾かして余計な水分を除いてください。
材料の表面がささくれ状態になる	①無理な切り込み深さ	①『推奨する最大切り込み深さ』を参照してください。 P11
	②板材の木目が挿入方向と合っていない	②板材の木目を挿入方向に合わせてください。
	③刃の切れが悪い	③新しい刃に交換してください。 P16~18
モーターが作動しない	①カーボンブラシの磨耗	①『カーボンブラシの点検』を参照してください。 P21
	②その他	②販売店、発売元へご連絡ください。
セフティカバーのつまり	①セフティカバーに油がたまっている	①セフティカバーと排出口を掃除してください。
	②大きな切削屑がある	②切削屑を除去してください。
カッターヘッドの昇降が動きにくい・動かない	①昇降ねじが汚れている	①昇降ねじを掃除し、注油してください。 P21
	②カッターヘッドが傾いている	②販売店、発売元へご連絡ください。
	③その他	③販売店、発売元へご連絡ください。
カッターヘッドが上下しない・深さ調整ハンドルが動かない	①カッターヘッドがロックされている	①カッターロックを左へ回し、ロックを解除してください。 P11

※これらのチェックを行っても正常に作動しない場合や、不明な点がございましたら、お買い上げの販売店または発売元までご連絡ください。お問い合わせや、ご連絡がないまま直接発売元に修理品などを送付されても、処理・対応ができない場合がありますので、ご了承ください。

保守と点検

別売品について

下記部品は別売しております。お買い上げの販売店、または発売元までお問い合わせください。

別売品一覧表

名 称	品 番	入 数
自動カンナ用替刃	APM-330PB	1set
自動カンナ用カーボンブラシ	PP-330CB	1set
自動カンナ用マグネットハンドリングツール	APM-330MH	1pc

安全上のご注意

必ずお守りください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを下記のように説明しています。

■表示内容を無視して、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分しています。

警告

『死亡や重傷を負う、または火災が発生するおそれがある内容』です。

注意

『傷害を負う、または物的損害が発生するおそれがある内容』です。

■お守りいただく内容の種類を次の図記号で区分しています。



してはいけない内容
『禁止事項』です。



必ず実行していただく内容
『強制事項』です。

電動工具使用上の一般的注意

警告



取扱説明書をよく読み、指示に従う。

・取扱説明書に記載された内容以外での使用は、事故の原因となります。



作業場はいつもきれいに保つ。

・散らかった場所や作業台は、事故の原因となります。



作業場の周囲状況も考慮する。

・電動工具は雨の中で使用したり、湿ったり、または濡れた場所で使用しないでください。

・作業場は十分に明るくしてください。

・可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。



子どもを近づけない。

・作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。

・作業員以外、作業場に近づけないでください。



使用しない場合は、電源スイッチのキーを抜き、安全な場所に保管する。

・乾燥した場所で、子どもにいたずらされない所、または錠のかかる所に保管してください。



無理な使用はしない。

・安全に能率良く作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。



無理な姿勢で作業しない。

・常に足元をしっかり安定させ、バランスを保つようにしてください。

安全上のご注意

必ずお守りください。

警告

- きちんとした服装で作業する。**

 - ・ネクタイをつけたり、袖口を開いたまま作業すると、回転部に巻き込まれる恐れがあり危険です。
 - ・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
 - ・長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
- 保護メガネを使用する。**

 - ・作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。
- 防音保護具を着用する。**

 - ・騒音の大きい作業では、耳栓、イヤーマフなどの防音保護具を着用してください。
- 電源コードを乱暴に扱わない。**

 - ・電源コードを持って電動工具を運んだり、電源コードを引っ張って電源から抜かないでください。
 - ・電源コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- 電動工具は注意深く手入れをする。**

 - ・安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - ・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店または発売元に修理を依頼してください。
 - ・延長コードを使用する場合は定期的に点検し、損傷している場合は交換してください。
- 次の場合は、電動工具の電源スイッチをOFFにし、差し込みプラグを電源から抜く。**

 - ・使用しない、または修理をする場合。
 - ・刃物などの付属品を交換する場合。
 - ・その他、危険が予想される場合。
- レンチなどの工具類は、必ず取り外す。**

 - ・電源を入れる前に、調節に用いたレンチなどの工具類が取り外してあることを確認してください。
- 不意な始動は避ける。**

 - ・電源につないだ状態で、電源スイッチに指を掛けて運ばないでください。
 - ・差し込みプラグを電源に差し込む前に、電源スイッチがOFFになっていることを確認してください。

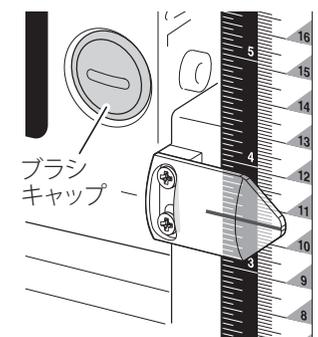
■カーボンブラシの点検

電源コードの差し込みプラグを抜いて、定期的にカーボンブラシの点検をしてください。

- 1 マイナスドライバなどでブラシキャップを回して外し、カーボンブラシを取り出します。**

 - カーボンブラシがきれいで、ホルダ内でスムーズに動くことを確認してください。
- 2 交換する際は、必ず新しいカーボンブラシを、外したカーボンブラシと同じ位置・方向で取り付けます。**

 - 2つのカーボンブラシのうち、どちらか一方でも0.7mm以下の長さになったら両方とも交換してください。
 - 指定のカーボンブラシをご使用ください。
 - 別売品について **P22**

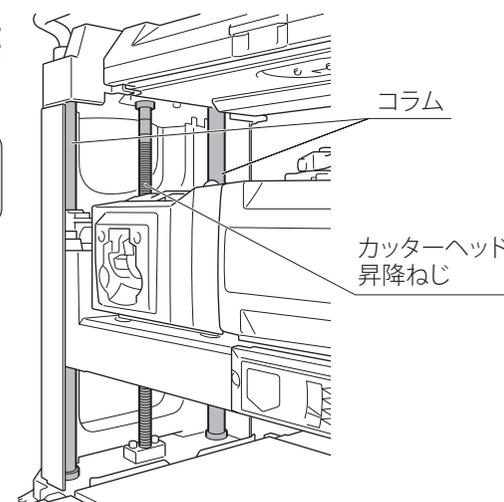


- !** 新しいカーボンブラシを交換する際は、必ず外したカーボンブラシの元の位置に取り付けてください。性能の劣化を防止します。

■注油

- 1 カッターヘッド昇降ねじ部に注油、コラム部にグリス塗布を行ってください。**

- !** 注油前に、切削屑、ゴミ等を取り除いてください。

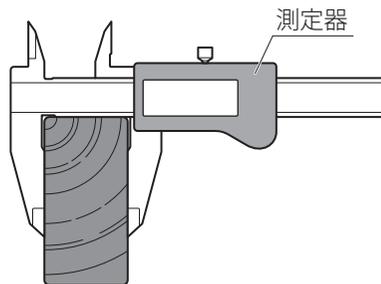




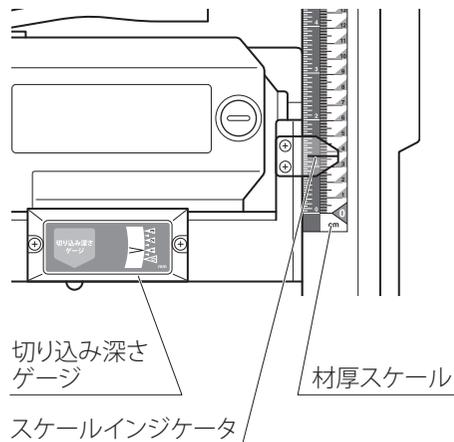
■スケールインジケータの確認

出荷時に調整されていますが、定期的の確認を行い調整を行ってください。

- 1 材料の厚さを測定器で測ります。



- 2 材料を切り込み深さゲージの下に置きます。昇降ハンドルを回して、切り込み深さゲージが「1mm」を指す位置にカッターヘッドの高さを調整します。

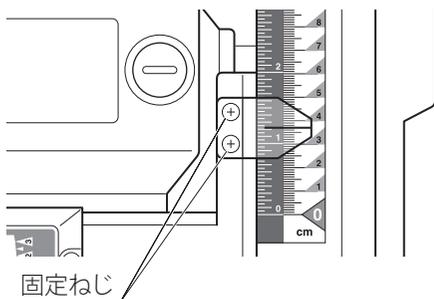


- 3 材厚スケールでスケールインジケータが「材料の厚み-1mm」を示しているか確認します。

- -1mmを示していない場合は、そのまま次項の「■スケールインジケータの調整」を行ってください。

■スケールインジケータの調整

- 1 スケールインジケータの確認を行った状態（切り込み深さ1mm）で、スケールインジケータ固定ねじをゆるめます。
- 2 「材料の厚み-1mm」の数値を示すよう、スケールインジケータを合わせ、固定ねじを締めます。



屋外使用に合った延長コードを使用する。

- ・屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。



十分注意して、慎重に作業を行う。

- ・電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況などに十分注意して慎重に作業してください。
- ・常識に基づき使用してください。
- ・疲れている場合は、使用しないでください。



損傷した部品がないか点検する。

- ・使用前に、各部品に損傷がないか十分に点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・可動部分の位置調整及び締付状態、部品の損傷、取付状態、その他運転に影響を及ぼす、すべての箇所に異常がないかを確認してください。
- ・損傷した部品の交換や修理は取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または発売元に修理を依頼してください。
- ・電源スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店または発売元に修理を依頼してください。
- ・電源スイッチで始動及び停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。



指定の付属品やアタッチメントを使用する。

- ・本取扱説明書及びカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外の物を使用すると、事故やけがの原因になる恐れがありますので使用しないでください。



電動工具の修理は、専門家に依頼する。

- ・本製品は、該当する安全規格に適合しておりますので、改造しないでください。
- ・修理は、必ずお買い求めの販売店または発売元に依頼してください。
- ・修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。絶対におやめください。

安全上のご注意

必ずお守りください。

自動カンナ安全上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、自動カンナとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

警告

- ❗ **銘板に表示してある電圧で使用する。**
 - ・表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に早くなり、事故やけがの原因となります。
- ❗ **必ず接地（アース）する。**
 - ・故障や、漏電などのとき、感電の恐れがあります。
- ❗ **使用中、本機の調子が悪かったり、異常音や異常振動があったときは、直ちに電源スイッチをOFFにして使用を中止し、お買い求めの販売店に点検、修理を依頼する。**
 - ・そのまま使用していると、事故やけがの原因となります。
- ⊘ **使用中は、カンナ刃や回転部、切削屑排出口へ手や顔などを近づけない。**
 - ・事故やけがの原因になります。

注意

- ❗ **傾斜のない平坦な場所に据え付けて、安定した状態にする。**
 - ・不安定な状態だと、けがの原因となります。
- ❗ **カンナ刃や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付ける。**
 - ・確実にないと、はずれたりして、けがの原因となります。
- ❗ **カンナ刃の取り扱いには、手袋などで手を保護し、十分注意する。**
 - ・不用意に扱くと、けがの原因となります。
- ❗ **カンナ刃の交換後や調整後は、カンナ刃固定用ボルトを十分に締め付ける。**
 - ・ボルトがゆるむと、けがの原因となります。
- ❗ **電源スイッチをOFFにした後も、カンナ刃は惰性で回転しているので注意する。**
 - ・けがの原因になります。

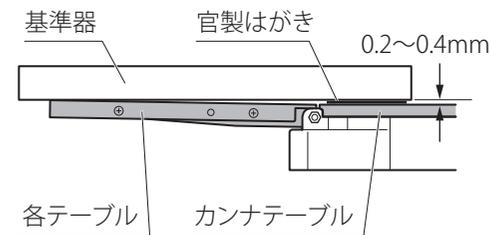
■テーブル高さの確認（挿入口テーブル／排出口テーブル）

挿入口テーブル、排出口テーブルの高さは出荷時に調整されていますが、定期的に確認を行い調整を行ってください。

カンナテーブルより各テーブルが「0.2～0.4mm」高くなるように調整してあります。

- 1 **カンナテーブルと各テーブルに定規などの基準器を乗せて、確認を行います。**

- 目安として、官製はがき（約0.23mm）を使用することで確認ができます。

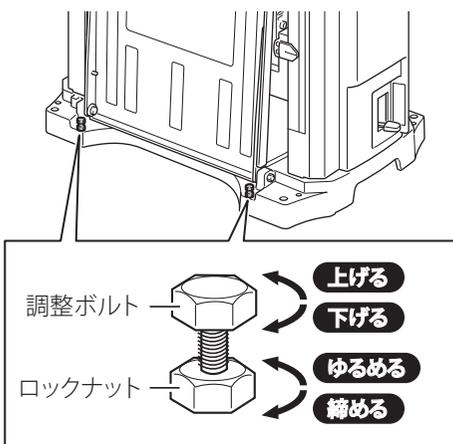


■テーブル高さの調整（挿入口テーブル／排出口テーブル）

- 1 **調整ボルトをレンチで押さえながらロックナットを別のレンチでゆるめます。**
- 2 **各テーブルをカンナテーブルより0.2～0.4mm高くなるように調整ボルトを回し、調整します。**

- ❗ 2箇所の調整ボルトは、同じ高さに調整してください。

- 3 **調整が完了したら、ロックナットをしっかりと締めます。**





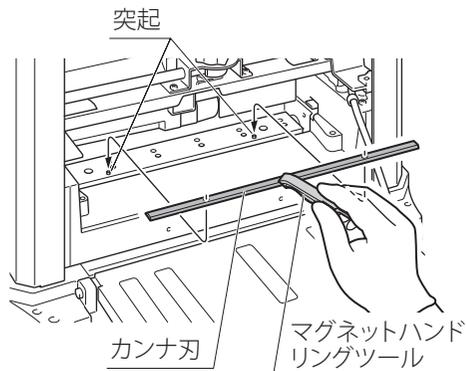
保守と点検

■カンナ刃の交換【取り付け】

1 カンナ刃をカンナ胴にセットします。

- カンナ胴の突起(2箇所)と、カンナ刃にある穴(2箇所)の位置を合わせます。

必ず作業用手袋などで手を保護し、慎重に行ってください。

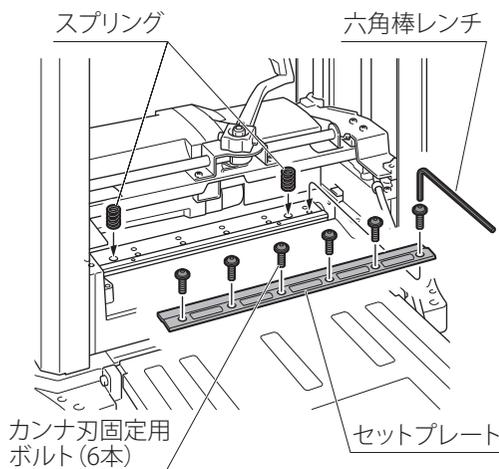


2 セットプレートを押さえながら、付属の六角棒レンチでカンナ刃固定用ボルト(6本)をしっかり取り付けます。

- 6本のカンナ刃固定用ボルトは、少しずつ均等に締めてください。

スプリングを紛失しないように注意してください。

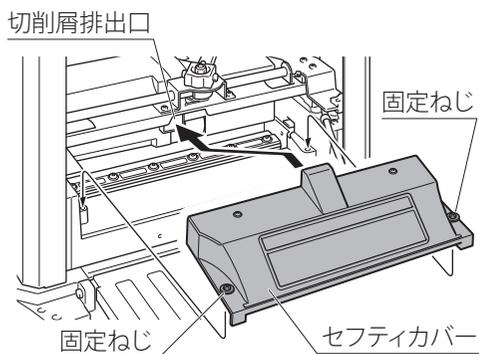
3 ヘッドロックレバーでカンナ胴のロックを解除しながら、カンナ胴を手で180度回転させます。反対側のカンナ刃も1~2の工程と同様に取り付けます。



4 セフティカバーを取り付けます。

- カッターヘッドにある切削屑排出口と、セフティカバーの位置を合わせて固定ねじ(2箇所)で取り付けます。

セフティカバーを取り外した状態での使用は行わないでください。
セフティカバーを正しく取り付けることで、ヘッドロック機構を解除します。カンナ胴が回転しなくなったり異音発生の場合は、取り付け確認を行ってください。



使用中は、軍手など巻き込まれる恐れのある手袋を着用しない。

- ・回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。



材料に釘などの異物がないことを確認する。

- ・刃こぼれだけでなく、けがの原因になります。



回転させたまま、放置しない。

- ・けがの原因になります。



回転中は、排出口内の切削屑を取り除かない。

- ・カンナ刃の回転が止まっていることを確認してから、木の棒などで取り除いてください。けがの原因になります。

ご使用前の準備

■アース

アースは、本機に異常な電流が流れ込んだり、本機から電流が漏れる等の故障が起きた際に、電流を外へ逃がします。

作業の前に、感電事故防止のため、必ずアースクリップを接地(アース)してください。

1 アース端子のツマミを外して、アースクリップを接地(アース)してください。

! アース端子がない場合、アース棒やアース板を地中に埋め込みアース線を接続する電気工事が必要です。この工事は、**電気工事士の資格**が必要ですので、お近くの電気工事店へ依頼してください。



■セフティーロック機構

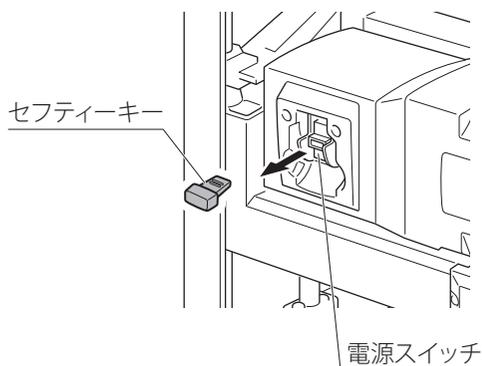
本機は作業者以外の方が、カンナを作動させることを防ぐために、電源スイッチのセフティーキーを設けております。ご使用にならないときは必ずセフティーキーを抜いてください。電源スイッチのセフティーキーを抜くと、電源スイッチは切り替えられません。

! 運転中にセフティーキーの抜き差しは行わないでください。

1 電源スイッチをOFFにして、差し込みプラグを電源から抜き、セフティーキーを抜きます。

●セフティーキーは、お子様の手の届かない所に保管してください。

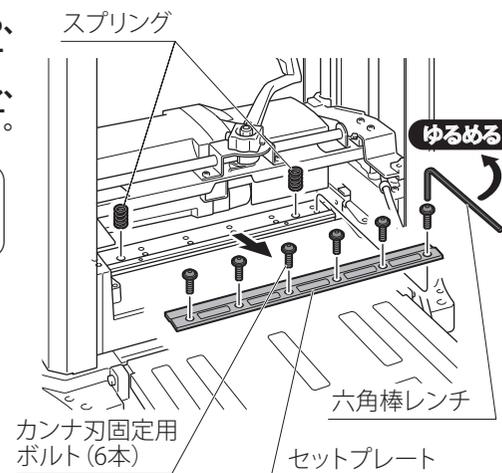
2 使用するときには、セフティーキーを電源スイッチに再挿入してから、差し込みプラグを電源に差し込みます。



! セフティーキーは紛失しないよう大切に保管してください。

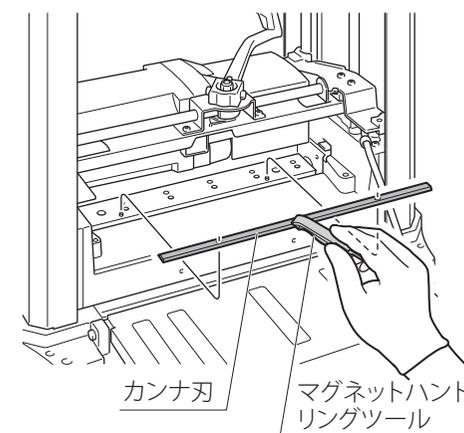
3 セットプレートを押さえながら、付属の六角棒レンチでカンナ刃固定用ボルト(6本)を外し、セットプレートを取り外します。

! スプリングを紛失しないように注意してください。

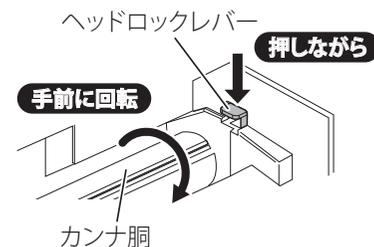


4 付属のマグネットハンドリングツールでカンナ刃をカンナ胴から取り外します。

! 必ず作業用手袋などで手を保護し、慎重に行ってください。



5 ヘッドロックレバーでカンナ胴のロックを解除しながら、カンナ胴を180度回転させます。反対側のカンナ刃も2~4の工程と同様に取り外します。





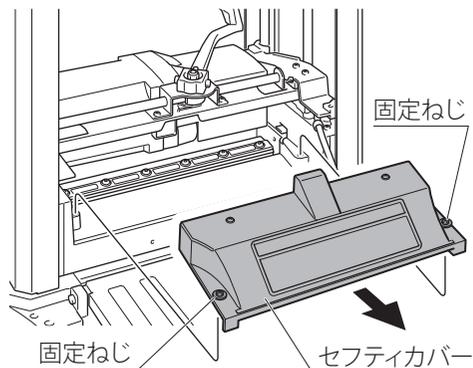
保守と点検

■カンナ刃の交換【取り外し】



- 必ず電源スイッチをOFFにして、差し込みプラグを電源コンセントから抜いて作業を行ってください。
- カンナ刃の取り扱いには、必ず作業用手袋などで手を保護し、慎重に行ってください。
- 本機のカンナ刃は両刃式ですので、反転して使用可能です。
- カンナ刃の反転、交換は、2枚同時に行ってください。

1 固定ねじ(2箇所)をゆるめ、セフティカバーを取り外します。

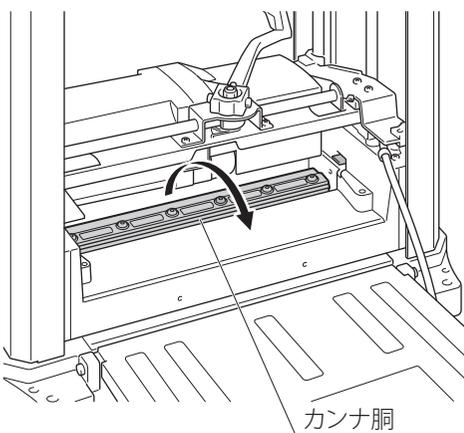


2 カンナ胴の回転がロックする位置まで、カンナ胴を手で回します。

- カンナ刃が上になる位置で、カンナ胴の回転がロックされます。



必ず作業用手袋などで手を保護し、慎重に行ってください。



■運搬



- ひとりで行わないでください。
- 足元に気を付けてください。

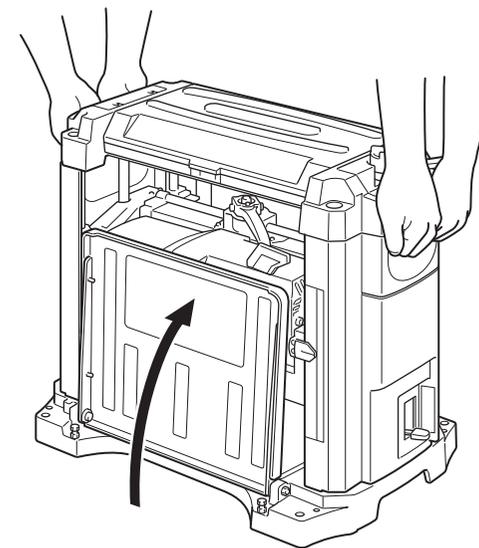
1 挿入口テーブル、排出口テーブルをたたんでください。

2 電源コードをコード収納ポケットに収納します。P15▶

3 材料が本機内に入っていないことを確認します。

- 材料が入っている場合は、取り除いてください。

4 取っ手を持って運搬してください。

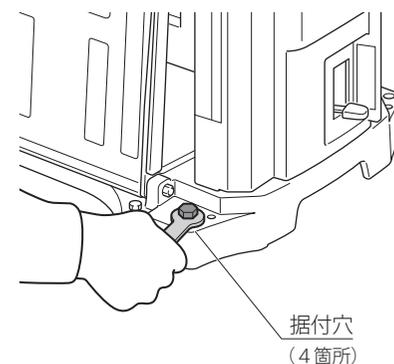


■設置



- 傾斜のない平坦な場所に、安定した状態で設置してください。
- 材料の挿入、排出がスムーズに行えるよう、十分なスペースを確保してください。
- 排出口側に作業以外の人がない場所に設置してください。

1 ベースの据付穴を利用し、ボルトまたはネジでしっかりと固定します。



ご使用前の準備

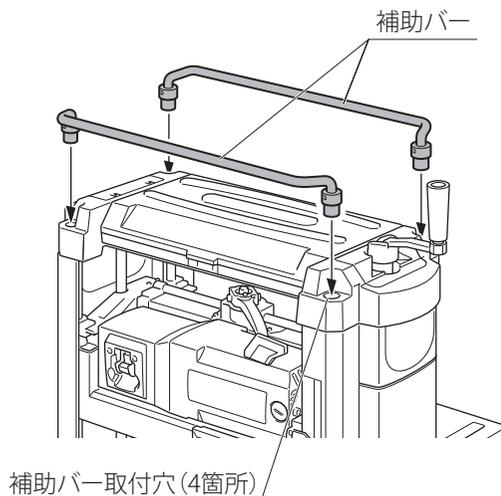
■補助バーの取り付け

本体上面に材料を載せることができます。



- ・本体移動の際は、補助バーを握って持ち運ばないでください。補助バーが外れ、事故やけがの恐れがあります。
- ・補助バー取り付け後は、一時的に加工材を置くスペースとなります。極端に重いものを載せたり、加工材を置いたまま長時間放置しないでください。

- 1** 本体上面の補助バー取付穴（4箇所）に、補助バーを差し込みます。



- 2** 差し込みプラグを電源から抜きます。



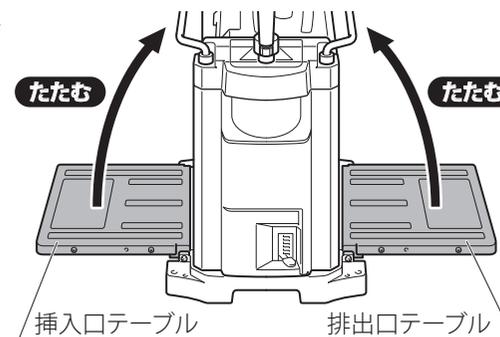
ぬれた手で、差し込みプラグの抜き差しはしないでください。



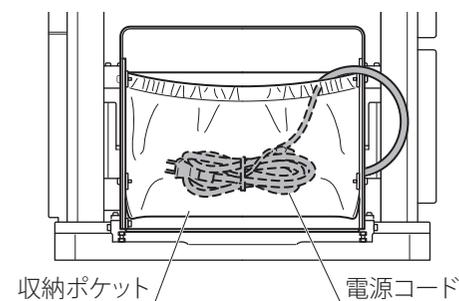
- ・必ず差し込みプラグを持って、電源から引き抜いてください。
- ・使用時以外は、差し込みプラグを電源から抜いてください。

- 3** カッターロックでカッターヘッドをロックします。

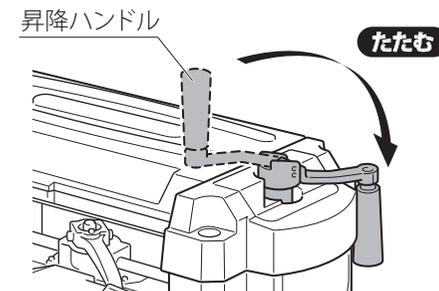
- 4** 各テーブルをたたみます。



- 5** 電源コードを束ねて電源コード収納ポケットに収納します。



- 6** 昇降ハンドルをたたみます。

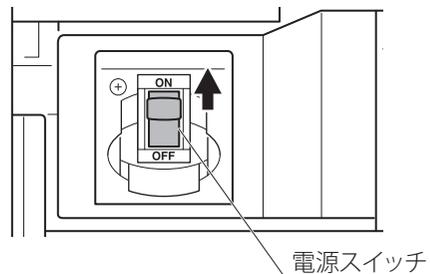




使用方法

7 電源スイッチをONにします。

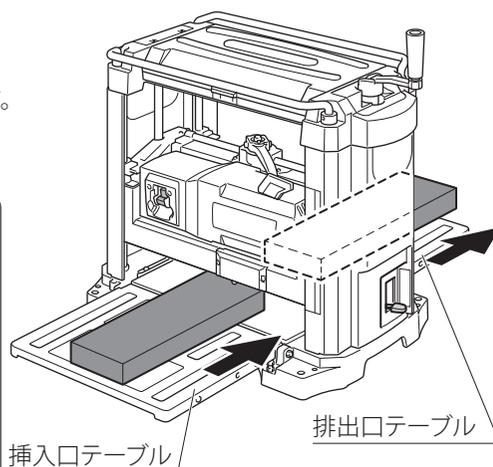
❌ 挿入口テーブルに材料がある状態でONにしないでください。



8 挿入口テーブルから材料を挿入します。

● 送材ローラによって自動で送材されます。設定した切り込み深さで加工された材料が排出口テーブルより排出されます。

- ❌ モーター回転が安定するまで材料を挿入しないでください。
- ❌ 厚さ10mm未満、長さが250mm未満の材料には使用しないでください。
- ❌ 複数枚の材料を挿入しないでください。
- ❗ 送材がストップした場合は、すぐに電源をOFFにしてください。

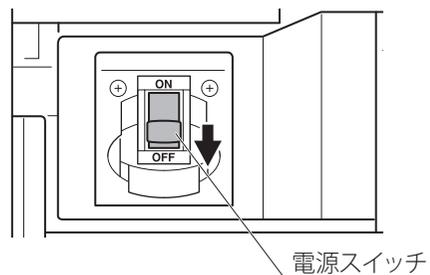


長くて重い材料の加工のときは、削り始めと削り終わりに材料を支えることで、材料の両端部の段付きを抑えることができます。

■終了方法

1 電源スイッチをOFFにし、セフティーキーを電源スイッチから抜いてください。

●セフティーロック機構 P8

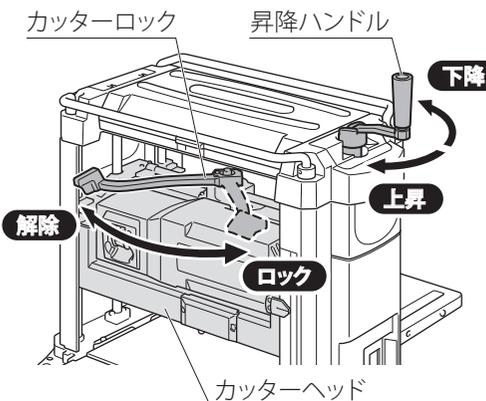


調整は必ず電源スイッチをOFFにした状態で行ってください。

■カッターヘッドの調整

木材の厚さに合わせ、カッターヘッドの高さ(切削深さ)を調整します。

- 1 カッターロックを左に引き、カッターヘッドのロックを解除します。
- 2 昇降ハンドルを回してカッターヘッドの位置を調整します。
●時計回り…上昇 反時計回り…下降
- 3 調整完了後、カッターロックを右に動かしカッターヘッドを確実にロックします。



■切り込み深さの調整

材料の切り込み深さを確認、調整します。切削幅によって最大切り込み深さが異なります。

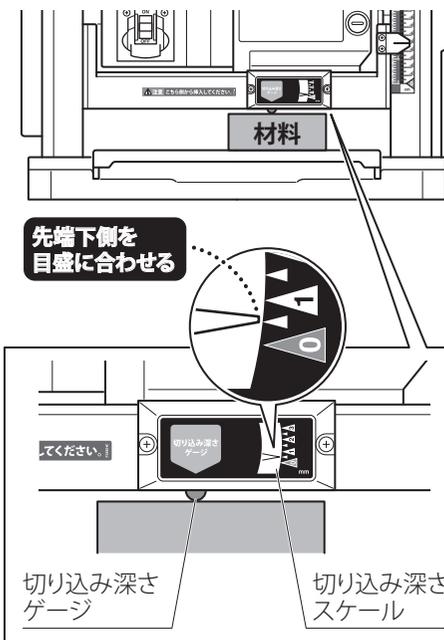
- 1 材料を切り込み深さゲージの下に置き、カッターヘッドを下降させます。
- 2 材料に切り込み深さゲージが押されることで、切り込み深さスケールに切り込み深さが表示されます。
●切り込み深さを確認しながらカッターヘッドを下降方向で調整します。

推奨する最大切り込み深さ

材料幅 0~15cm……約3mm
材料幅 15~33cm…約1.5mm



- カッターヘッドは下降方向で調整を行ってください。
- 切り込み深さスケールは先端の下側が、目盛と一致するように調整を行ってください。





ご使用前の準備

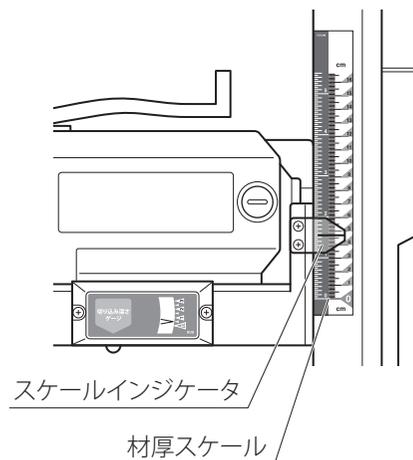
! 調整は必ず電源スイッチをOFFにした状態で行ってください。

■スケールインジケータ

カッターヘッドの高さ、材料の仕上がり厚を確認、調整することができます。目安としてご使用ください。

- 1 昇降ハンドルでカッターヘッドの高さを調整します。
- 2 材厚スケールにスケールインジケータを合わせます。

●スケールインジケータの調整 **P20**



■定寸ストップ

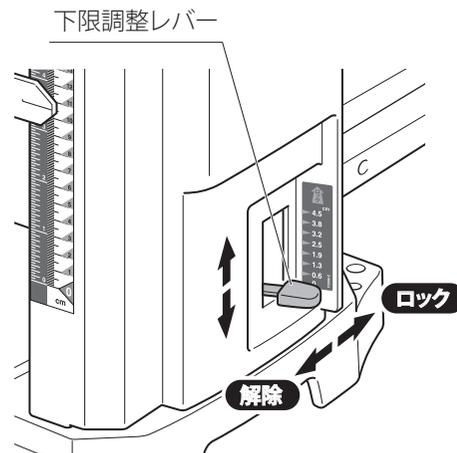
カッターヘッドの下降下限設定ができます。同じ厚さの材料を複数加工するときに目安としてご使用ください。

- 1 下限調整レバーを手前に引きロックを解除します。
- 2 下限調整レバーで、定寸設定を行います。

設定可能定寸

0.6cm/1.3cm/1.9cm/2.5cm/3.2cm/
3.8cm/4.5cm

- 3 下限調整レバーをロックします。



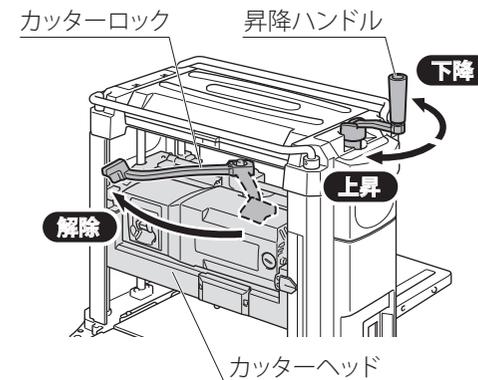
使用方法

■操作方法

- 1 差し込みプラグを電源コンセントから外します。

- 2 カッターロックを解除し、昇降ハンドルでカッターヘッドの高さを調整します。 **P11**

●スケールインジケータを確認しながらカッターヘッドが材料厚よりも高い位置になるよう調整してください。



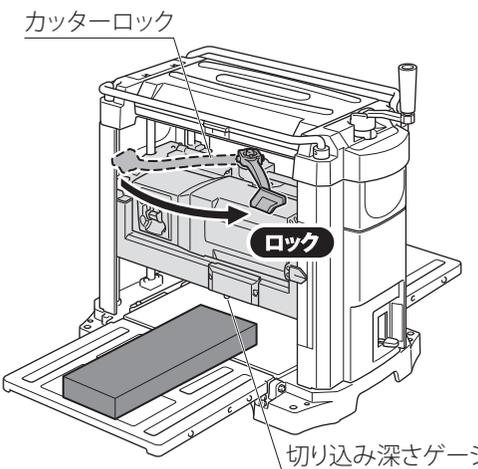
- 3 切り込み深さゲージの下に材料を置きます。

- 4 カッターヘッドを下降させ、切り込み深さを設定します。

●切り込み深さの調整 **P11**

! カッターヘッドは下降方向で調整を行ってください。

- 5 設定が完了したら、材料を取り除きカッターロックでカッターヘッドをロックします。



- 6 差し込みプラグを電源 (AC100V) へ差し込みます。

! めれた手で、差し込みプラグの抜き差しはしないでください。

! 差し込みプラグを電源へ差し込む前に、電源スイッチをOFFにしてください。